一般財団法人
郵政福祉
助け合いのココロを『かたち』に

2023
郵政福祉の現状
Yusei Fukushi Disclosure

はじめに

平素より、皆さまには格別のご愛顧をいただき厚く御礼申し上げます。郵政福祉は、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当法人に対するご理解を一層深めていただくために、主な事業及び財務内容などについて、わかりやすくまとめた「2023 郵政福祉の現状」を作成いたしました。是非ご一読いただきますとともに今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月 一般財団法人 郵政福祉

～郵政福祉キャッチフレーズ～

助け合いのココロを『かたち』に

一般財団法人郵政福祉

郵政福祉
ロゴマークについて

郵政事業を赤いマル（左円部分）、日本郵政グループ社員等の皆さまを青いマル（右円部分）、当法人を頭文字のＹに見たて、「日本郵政グループ社員等の福祉の増進と郵政事業の発展に寄与する」という当法人の使命を象徴化したものです。

2023 CONTENTS

トップメッセージ …… 1
2022年度郵政福祉トピックス …… 2

最新の概況

2022年度における保険商品の概況 …… 6
資産の長期的・安定的な運用について …… 8
収益性と健全性について …… 9

経営体制について

コーポレートガバナンスについての取り組み …… 10
内部統制システムの整備 …… 10
コンプライアンス（法令遵守）の推進 …… 11
教育・研修の推進 …… 12
勧誘方針 …… 13
個人情報保護への取り組み …… 13
反社会的勢力への対応 …… 14
リスク管理体制 …… 14
ディスクロージャーの充実 …… 16
お客さまの声を経営に活かすための取り組み …… 18

保険商品のご案内

保険商品の種類 …… 20
ご契約のお申し込みから成立まで …… 22
保険金等のご請求から受け取りまで …… 23
ご加入者さまへのご案内状 …… 24

業績データ

業績データ目次 …… 25
〈特定保険業データ〉 …… 26
〈特定保険業外事業データ〉 …… 39
〈法人全体データ（2022年度決算書）〉 …… 40

法人情報

役員・評議員 …… 47
従業員の状況 …… 47
歴史と沿革 …… 48
事業所一覧 …… 49

法人概要（2023年3月31日現在）

名称	一般財団法人郵政福祉	**基本財産**	10億80万円	**事業所**	13地方本部
設立	1954年10月1日	**従業員数**	187人	**本部所在地**	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目14番1号　郵政福祉琴平ビル

本誌は、保険業法等の一部を改正する法律（平成17年法律第38号）において読み替えて準用する保険業法第111条及び認可特定保険業者等に関する命令第34条に基づき作成したディスクロージャー資料です。

※数値はすべて単位未満切り捨てにしています。
※%は表示未満を四捨五入しています。
　この端数処理により、合計が100%にならないことがあります。

トップメッセージ

健全経営を維持しつつ お客さまサービスの向上に取り組んでいます

ごあいさつ

郵政福祉は、1954年設立の郵政互助会を存続法人として他2財団法人と統合し、2005年10月に設立されました。以来、日本郵政グループで働く皆さまの豊かな暮らしの応援と安心の提供を目的に、退職給付保険、災害保険及び社員援護保険の3保険商品を中心としたサービスを提供しています。

基幹商品である退職給付保険は、多くの方にご理解いただき、2022年度末では、約18万人の社員の皆さまにご加入いただいています。2022年度は、退職された6千人以上の皆さまに約157億円の退職給付金をお支払いいたしました。

災害保険は、火災、風水雪害、震災等に備える保険ですが、18万人を超える皆さまにご加入いただいており、2022年度は9億円あまりの保険金をお支払いいたしました。

社員援護保険は、死亡・障害等に備える保険ですが、引き続き11万人を超える皆さまにご加入いただいています。

このように多くの皆さまに支えられて順調に事業を展開することができました。改めまして皆さまのご愛顧に厚く御礼申し上げます。

事業経営にあたっては、内部統制（ガバナンス）の充実を図るとともに、お預かりした保険料についてはより安全性を重視した資産運用に心掛け、財政基盤の強化に努めています。2022年度においては、欧米金利の上昇や円安による物価上昇など、不安定な運用環境下にありましたが、金融資産運用、不動産運用ともに安定した収益の確保に努めた結果、事業損益は引き続き黒字となり、堅実な財政基盤を確保できています。

郵政福祉では、今後とも健全経営を維持しつつ、日本郵政グループで働く皆さまにより良いサービスを提供できるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。引き続き、皆さまのあたたかいご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

郵政福祉 理事長
渡邊 伸司

経営理念

一般財団法人郵政福祉は、日本郵政グループ社員等の皆さまの豊かな暮らしの応援と安心の提供に努めます。

行動指針

1 お客さま第一主義
私たちは、日本郵政グループ社員等の皆さまへの奉仕を第一とする精神をすべての業務の原点に置き、常に質の高いサービスの提供に努めます。

2 法令の遵守
私たちは、高い倫理観を持つことを誇りに、すべての業務においてコンプライアンスを徹底し、社会的責任を果たします。

3 人間の尊重
私たちは、すべての業務に関わる人の尊厳と基本的人権を守り、そのことにより事業と人の持続的成長を図ります。

4 社会への貢献
私たちは、環境に配慮し、事業活動の中で積極的に社会に貢献します。

2022年度郵政福祉トピックス

2022年度に起きたトピックスをまとめました。郵政福祉では、デジタル化の推進やご加入者さま向けサービスの拡充などにより、お客さまサービスの充実を図りました。

世の中のトピックス

民法改正　成人年齢18歳に

……4月

沖縄本土復帰50周年 ……5月

北関東を中心として雹(ひょう)害が発生 ……6月

堀江謙一さん、最高齢で太平洋横断 ……6月

能登地方を震源とする地震により石川県で震度6弱 ……6月

安倍元首相、銃撃され死亡 ……7月

第二次岸田改造内閣発足 ……8月

台風14号 九州・中国地方を中心に豪雨災害 ……9月

エリザベス英女王死去 在位70年 ……9月

西九州新幹線開業 ……9月

プロ野球村上宗隆選手、史上最年少3冠王 ……10月

サッカーW杯2022カタール大会
アルゼンチン優勝 ……12月

トルコ・シリアでM7.8の地震 ……2月

侍ジャパン2023WBC世界一 ……3月

郵政福祉のトピックス

上里・北関東集中雹(ひょう)害
支払状況
168件　52,944千円
（2023年6月30日現在）

- 結婚・出産祝品ネット請求サービス開始

- ゆうイングプレミアムサービスキャンペーン実施

- 災害保険及び社員援護保険の保険料、保険金額の定期検証を行い、現行の保険料、保険金額に据え置くことを決定

台風14号
支払状況
409件　124,022千円
（2023年6月30日現在）

- RinRinリニューアルに伴う、ロゴの商標申請

RinRin

Topics 1 情報誌『RinRin』のリニューアル

多くの方に「RinRinファン」になっていただける情報誌を目指して、2018年5月号から、幅広い年代の読者の方の夢を著名人の方に応援していただく「夢をかなえて」企画や、生活に役立つ情報の提供として「マネーコラム“備えあっての安心ライフ”」企画などの情報を発信してきました。

2023年4月号からは、「つながり、響き合う情報誌」として日本郵政グループ等の皆さまがつながり、そして響き合う情報誌を目指してリニューアルいたしました。

20人の著名人の方に出演いただいた「夢をかなえて」企画は、「あの人にお願い！」企画として、著名人の方に出演いただくのはそのままに、読者の方が気軽に参加し、繋がれるような企画となりました。

お金など生活していくうえで必要な知識は、「マネーのイロハ」として漫画を交えながら、より分かりやすく、響きやすい企画として生まれ変わりました。

そのほか、旬を活かしたレシピや、日常にある四季折々の風景や食べ物などアーティスティックに切り取った「アートな世界」など盛りだくさんの内容でお楽しみいただけます。

郵政福祉の保険商品案内や決算報告等の情報もよりお客さまにご理解いただけるよう努めてまいりますので、これからの情報誌『RinRin』もぜひお楽しみください。

Topics 2 お客さまサービスの充実

○結婚・出産祝品ネット請求ページの開設

退職給付保険「ゆうイング」にご加入の方で、契約期間内にご結婚またはお子さまがご誕生された際に、当法人のホームページより祝品のギフトカタログを請求いただけるサービスを2022年6月に開始しました。

2022年度に祝品を請求いただいた約5,000名のうち、半数の方にネット請求をご利用いただいています。

今後もお客さまのニーズを踏まえ、保険の新規加入等、新たなデジタルサービスを検討・展開し、サービスの向上に努めてまいります。

○ゆうイングご加入者さま向けキャンペーンの実施

ゆうイングご加入者さま向けに、宿泊施設やスポーツクラブ、映画館等の日々の生活や旅行でご利用いただけるサービスである「ゆうイングプレミアムサービス」を2018年から開始し、本日まで多くのご加入者さまにご利用いただいています。

2022年度については、さらに多くのご加入者さまにお得にご利用いただけるよう、特別企画として特に人気の高い、映画館や宿泊施設・レジャーの割引価格でご利用いただける人気メニュー補助キャンペーンを2022年7月から2023年3月まで実施いたしました。今後もご加入者さまにご利用・ご満足いただけるようなサービス・キャンペーンの充実に努めてまいります。

○災害保険・社員援護保険の保険料据置

災害保険・社員援護保険は、将来にわたって保険財務の健全性を維持するため、普通保険約款において、少なくとも3年毎に、保険料及び保険金額の妥当性について検証することとしています。

2021年度末で、前回の2018年度末検証から3年が経過したため、保険料及び保険金額の検証作業を行った結果、現状の保険料及び保険金額を維持できることが確認されたため、2023年度以降の保険料を据え置くことを決めました。

Topics 3 近畿地方本部の総合力を活かし お客さまから「頼られる郵政福祉」を目指す

郵政事業の発展により寄与するために

近畿地方本部長　清水直紀

――近畿地方本部の特徴や雰囲気を教えてください。

近畿二府四県を受け持つ地方本部として多くのお客さまを担当させていただいています。このように多くの日本郵政グループ社員さまの福利厚生を担っている点について職員全員が理解しており、商品・サービスの適正な提供に向けて各々ができることを自発的にやっていくという特徴を持ち合わせていると思います。それに伴い、職員間で自然かつ自発的に情報共有・意見交換が行われ、行き違いが極めて少ない、効率的な活動につながっている地方本部だと思います。また、関西人の「ノリ」で職場の雰囲気はいつも明るく、わいわいガヤガヤ、やかましいですが、一人で悩まず相談しやすい職場でもあると思います。

――今のお仕事はいかがですか？

38年間お世話になった日本郵政グループを今現在、支え続けてくれている社員の皆さまのための福利厚生、豊かな暮らしをサポートできるという点と、日本郵便（株）で金融関係の仕事をしていた関係から、良いも悪いもそのときのいろいろな経験を活かせることもあり、大変満足しています。地方本部長という責任のある立場ですが、明るい職場で活き活きと仕事ができていることに感謝の気持ちでいっぱいですし、日本郵政グループ等で働く社員等の皆さまへ恩返しをしなければ、という気持ちで日々臨んでいます。

――現在のお仕事のやりがいを教えてください。

商品・サービスの提供先である日本郵政グループを取り巻く環境は厳しさを増していると思います。私ども、郵政福祉を取り巻く環境も、人口減少や少子高齢化等によるお客さま層の変化、保険販売チャネルの多様化などが存在します。「頼られる郵政福祉」を目指して、丁寧なお知らせ活動と末永くお付き合いいただくためのアフターフォロー活動の基盤構築など、これらの課題解消に向けて日々考え、悩み、そして施策を具現化していくという責任がやりがいになっています。また、日本郵政グループ社員さまの福祉の増進と郵政事業の発展に寄与することができる法人として存立していることをもっともっと近畿地方本部で働く全員に理解を深めてもらいたい、さらには郵政グループの皆さまへの私たちの活動に対する理解を深める対策を進めていきたい、いかなければならないという気持ちもやりがいにつながっています。

――今後の目標を教えてください。

地方本部の一番の役割、存在意義は、商品・サービスの適正な提供にあると思っています。

昨年度、近畿地方本部は全員でお知らせ活動、アフターフォロー活動を展開してまいりましたが、当初に掲げた訪問目標を達成できませんでした。この悔しさを胸に、今年度は「全員営業」をスローガンの中心に据えて、訪問目標の達成に向けて昨年度を上回る強力な団結で取り組んでまいります。